



たかといちどいだよい



令和6年5月 第103号
たかといちどい保育園

花冷えで始まった4月も、中旬からは一気に初夏の陽気となり、体調管理に苦慮された方も多かったのではないのでしょうか。20名の新入園児を迎え、園長交代でスタートした令和6年度ですが、保護者および関係者の皆さまのご理解とご協力を得て、順調な滑り出しができました。ありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症が5類に指定されてから、早いもので1年が経ちます。この間も、必要最低限の感染予防対策を行ってまいりましたが、他の感染症予防の観点からも、引き続き体温測定と手洗い、うがい等を励行します。

次に、本園の防災・安全対策についてお伝えします。まず防災訓練は、火災、水害、地震、津波、不審者侵入等を想定して、毎月1回行っています。これは、消防法で定められた回数6倍にあたります。災害発生時には、自助・共助・公助の順に生命と財産を守る行動が必要とされています。しかし、保育園で暮らす乳幼児には、十分な自助の力は備わっていません。発災直後に、子どもたちの命を守ることができるのは、私たち職員だけです。これを肝に銘じて、あらゆる災害に立ち向かう力を身に付け、命を守る行動を実行できる人にならなければなりません。これが、年12回の訓練の原動力です。

さらに、救急訓練も毎月行っています。様々な事故や急病を想定し、応急処置や通報連絡等の訓練を繰り返します。1分1秒を争う事態に遭遇したときに、沈着冷静に的確な救急救命活動ができる力を、職員一人ひとりが身に付けられるよう、地道な努力を積み重ねていきます。

最後に、去る4月18日に第1回防災訓練（火災想定、避難、非常持ち出し）を行いました。非常ベルが鳴り、緊急放送による避難指示を受けて、担任保育士の誘導で避難行動が行われました。子どもたちは、とても落ち着いていて、整然と訓練に参加することができました。改善すべきところは情報共有し、次回に繋げていきたいと思えます。

今月24日の親子遠足が、好天に恵まれ、有意義な1日となることを心より願っています。

宮田 孝一

5月の予定

誕生会	8日(水)
避難訓練	10日(金)
発育測定	15日(水)～17日(金)
救急訓練	16日(木)
避難訓練	22日(水)
親子遠足	24日(金)
体育あそび	9日(木)・23日(木)





わんわん



新しい環境の中で、初めはなかなか慣れず、泣くことも多かった子どもたち。1対1でゆったりと寄り添うことで機嫌よく過ごせるようになりました。保育室にある様々な玩具に誘いかけると興味をもち、遊ぶようになってきました。保育士が優しく話しかけると、じっと目を見つめたり、にこっと笑ったり様々な表情で応える姿も見られます。これからも一人ひとりと十分にスキンシップをとりながら関わることを心掛けていきます。

今月も、ゆったりとした雰囲気の中、それぞれの生活リズムに合わせて睡眠に誘いかけたり、優しく体に触れたりし、安心して眠れるようにしていきたいと思います。



くるくる～



たのしい～



今月のねらい：ゆったりとした雰囲気の中、安心して眠る



うたごえ



初めは泣いて過ごすことが多かった子どもたちも新しい環境に少しずつ慣れ、保育士との1対1の関わりの中でニコニコ可愛い笑顔を見せ、機嫌良く過ごせるようになってきました。先月は、好きな遊びを楽しんだり、みんなで歌を歌ったり、絵本を見たりしました。お気に入りの絵本は『だるまさんが』と『くらくらい』です。だるまさんになりきって体をゆらゆらさせたり、「わんわんいたあ」とお話に出てくるものを指差してやりとりしたりすることを楽しんでいました。

今月も一人ひとりの興味や関心を大切に、好きなことを満足いくまで楽しめるようにしていきます。また、天気の良い日には、屋上園庭や散歩に行き、戸外で思いきり体を動かして遊べるようにしていきたいと思います。

びろ～ん



でんしゃ
たのしいね



今月のねらい：思いきり体を動かして遊ぶことを楽しむ



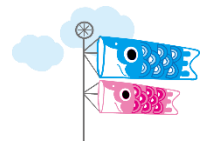
びび



先月は、みんなでこいのぼりの製作をしました。ビー玉に絵の具をつけて、ころころと転がすと、不思議な模様になったり、色が混ざって別の色が出てきたりすることに驚き、興味をもち楽しんでいました。足形スタンプでは、足の裏に絵の具が付く感触や足形が増えていくことを面白がっていて、何度もスタンプしていました。今後も様々な技法で製作をして、楽しさや面白さに共感することを大切にしていきます。

今月は、戸外でのびのびと体を動かしたり、生き物や自然に触れたりする楽しさを味わえるように、園外へ散歩に行く機会をたくさん作ろうと計画しています。

今月のねらい：戸外で遊ぶ楽しさを味わう



みてみて～



できたかな？



きりんグループ



4月は、丁寧な手洗い、うがいの仕方について再度子どもたちと一緒に考えて、意識して行えるようにしました。指や爪の間にもばい菌がいること、うがいの仕方の違いについてなど、子どもたちはよく知っています。手洗い、うがいの大切さを改めて知るきっかけになり、うがいをするのを忘れてしまっていた子どもも意識して丁寧に取り組むようになってきました。子どもたちが健康な毎日を過ごせるように、手洗いやうがいを一緒に行い、丁寧に行う姿を認めていきます。

今月は、異年齢での関わりを楽しめるよう、ふれあい遊びやゲーム遊びをたくさん取り入れていきます。

きれいに
なってるね



今月のねらい：友だちと言葉のやりとりをしながら関わって遊ぶことを楽しむ



うさぎグループ



異年齢での関わりが深まるように、ジャンケン列車や爆弾ゲームを取り入れ、ふれあい遊びを楽しみました。年上の子どもたちは、年下の友だちに優しくルールを知らせたり、手を繋いで誘いかけたりする姿も見られました。遊びの中では、やりとりをしながらジャンケンをしたり、握手をしたりと十分に関わることを楽しむ姿が見られました。ほし組の子どもたちも先生や友だちの名前を覚えて会話を楽しんでいます。今後も子ども同士の関わりを見守ったり、一緒に遊んだりすることで、更に関わりが深まるようにしていきます。

今月は、様々なマナーを守りながら食事ができるように、箸の持ち方や姿勢について丁寧に知らせていきたいと思ひます。

今月のねらい：様々なマナーを守りながら食事をする



なが〜い
でんしゃに
なったね



ぞうグループ



新しい生活にすっかり慣れた様子の子もたち。最初は同年代での関わりがほとんどでしたが、年上の子どもは年下の友だちを気にかけてたり、年下の子どもは年上の友だちの遊びに興味をもったりと、少しずつ関わりが深まってきました。また、じっくりと遊ぶ時間をつくったことで、それぞれの好きな遊びを見つけて楽しんでいました。今後も一人ひとりの楽しさに寄り添い、傍で関わりを見守っていきます。

今月は食べる時の姿勢、食器の持ち方など、マナーを守って食事ができるよう繰り返し声をかけたり、子どもたちと一緒に考えたりしていきたいと思ひます。



ここに
かいてあるよ



ころころ〜



今月のねらい：マナーを守って食事をする



《食事のマナーを知ろう》

4月は、食事の際の様々なマナーについて話を聞き、一人ひとりが正しいマナーを意識できるようにしました。姿勢について・食器の持ち方について・挨拶について・箸の持ち方について等を実際に保育士が前でして見せました。子どもたちに合っているかどうか、どこが間違っているのか等を確認しながら行うことで、しっかりと理解する姿が見られました。今後も、子どもたちと様々なマナーについて考える時間を設けたり、一緒に確認したりしていきたいと思います。



どれが正解でしょう



お箸の持ち方についてのイラストを保育室に貼っているので正しい持ち方を意識しながら食事しています。

～食べる時の4つの約束～正しい姿勢について

- ①背筋はのばして、良い姿勢で食べる
- ②椅子やテーブルに寄りかからない
(椅子にもたれすぎない・テーブルに肘をつかない)
- ③テーブルと体の間は、げんこつ1つ分あける
- ④足はぶらぶらせず、しっかりと床に付ける



《心に残る海外映画2選！》



皆さん、暇な時間は何をして過ごされていますか？ 私はよく動画配信サービスでドラマや映画を観ます。特に海外映画が大好きで、今までいろんな作品を見てきました。全く英語は話せませんが、日本の映画とはまた少し違ったおしゃれな雰囲気や、海外映画ならではの言葉の言い回しや迫力が魅力的で無性に観たくなる時があります。

今回は園だよりなので、子どもが主役の海外映画を2つ紹介します。

1つ目は、『wonder 君は太陽』という作品です。この映画は、トリーチャーコリンズ症候群が原因で顔が変形している10歳の男の子が、周りからの差別や直面する様々な問題を乗り越えていく物語です。初めは他の子と顔が違うことでいじめを受けることもありましたが、家族に支えられながら学校生活に適應しようとする少年。その姿や、少年との交流を通してクラスメートたちは人の内面には外見で推し量れないものがあるということを学んでいき、相互理解に繋がっていきます。心が折れそうになりながらも、自分らしさを忘れずに生きていく主人公の姿、家族愛や友情など、生きていくうえで大切なことを改めて学べる感動映画です。

2つ目は、『ホームアローン』という作品です。人気作品なので観たことがある方も多いと思います。クリスマスに家族でパリ旅行を計画していたものの、目覚まし時計がリセットされたことで全員寝坊をし、屋根裏部屋で寝ていた主人公の8歳の少年ケビンを持って行くのを忘れてしまうという衝撃的なシーンから始まります。留守番で一人になったことを嫌がるどころか大喜びで楽しむ、お茶目なケビンの行動や表情が見どころの作品です。ハラハラドキドキしながらも笑える場面が盛り沢山なので何回も観たくなります。

どちらも心に残る作品になっているので、イチ押しです。気になった方は、ぜひ観て感想を教えてください！

内樋 梨紗